



▲佐藤スミさん、91歳。今年もシミ餅作りに挑戦しました。

岩代地域で仕事や趣味、ボランティア等に携わり、元気に暮らしている高齢の方を紹介。第六回は、岩代町時代に伝統食の普及活動に携わり、現在も自宅で郷土食を手作りしている箱石の佐藤スミさんを紹介しています。

「喜んで食べてくれる人がいることが一番の励み。季節を感じながら懐かしい味を守りたいです」

「めざせ！生涯現役」シリーズ⑥

かわら版
いとしろ

集落支援員だより



◆ 生い立ち&活動について

私は上太田字梅沢地内で生まれ、娘時代は農家の手伝いをする傍ら、冬に小浜まで約1時間の道のりを歩いて洋裁を習いに行き、そして二十一歳の頃、親戚の紹介で箱石のこの家に嫁ぎました。嫁いだ後は嫁として農家の手伝いや家事などにまします忙しい毎日。本当に良く働きました(笑)。



▲ふき菓子は砂糖でふきがダマにならないよう扇風機で風を入れるのがコツ。

郷土食の開発に携わったきっかけは、知人に誘われて「岩代町生活改善グループ協議会」に所属したことです。当時、町おこしの一環として、きやらぶき、ふきの佃煮、酢ぶき、ふき菓子、ふきのとう味噌という5種類をセツトにした「ふきづくし」の商品化に関わりました。六角はつらつセンターに集まってみんなで調理をしたのですが、楽しかったですね。合戦場の桜祭りや福島市の物産展で販売したり、関東へ出かけて販売したりなど思い出がいっぱいです。

◆ 今も作っている伝統食は？

もともと料理が好きなので、季節ごとに作っている伝統食は、

Q&A形式で 佐藤スミさんの人となりを紹介

佐藤さんの取材では、つねに自分で考え、試行錯誤を重ねながら料理を作っている姿勢に感銘を受けました。ほかにも佐藤さんの人柄を伝えるQ & Aを紹介します。

Q.岩代の好きな風景は？

→自宅の庭から見える日山や羽山などの風景が好きです。朝起きて最初に山を見るのが日々の楽しみで、晴れた日の午後は、玄関前にある椅子に座って日向ぼっこを楽しんでいます。少し歩くと安達太良山が見える高台もあり、いい所なんです。

Q.人生で一番嬉しかったことは？

→3人の息子たちを授かったことです。当時は、自宅でお産婆さんが赤ん坊を取り上げてくれましたが、無事に生まれてくれたときは本当に嬉しかったです。

Q.これからしたいことは？

→昔作ったものを季節になると思い出して作りたくなります。今年も5、6月頃にふきを採っているいろいろ作りたいです。あと去年は柿や梅が不作だったので、今年は実ってほしいですね。

Q.好きな食べ物は？

→実は簡単にすぐ食べれる物が好きです(笑)。特に、桃やブドウなど果物は大好きです。

Q.休日の過ごし方は？

→やっぱり料理です(笑)。季節ごとの加工品や保存食をせっせと作っています。



▲自宅の庭からの眺めがお気に入り



▲豆餅は豆の配置や発色にも気を付けています。

◆ 日々思うことについて

す。また原発事故以来、放射能や暖冬の影響もあり、シミ餅は外に干さずに冷凍庫で三日三晩水分を抜いてから室内に干しています。

昔は年中行事が沢山あって、郷土料理を手作りする機会が多かったのですが、今はほとんどなくなりました。我が家では今も喜んで食べてくれる人がいるのが嬉しくていろいろ作っています。これからは、



▲一巻き一巻き、爽やかな香りのゆず大根は、上品な酸味と甘みが絶妙。

**★フォトコンテスト第2弾★
応募写真を募集中！**

岩代観光協会では「REIWA 7 いわしろフォトコン2」を開催しています。応募作品の中から最優秀賞など合計3名の方に、道の駅「さくらの郷」の商品券等をプレゼントします。岩代の魅力が伝わる写真を撮影し、インスタに投稿ください。

★テーマ：「岩代地域の魅力」**★期間：2025年4月1日～6月30日****★応募方法：上記期間中に岩代地域で撮影した写真を岩代観光協会Instagramに投稿ください。**

※応募に際して、岩代観光協会Instagram「日本の過疎地最先端 岩代P」のサイトへの登録が必要となります。下記、QRコードからインスタ登録とフォローをお願いいたします。

日本の過疎地最先端
いわしろP

※スマホやタブレットからアクセスできます。フォトコン詳細についても、インスタ内に紹介されています。

IWASHIROKANKO



▲岩代支所の1階待合室に、フォトコン1の受賞作品や応募写真、合計約200枚が展示されています。ぜひ、ご覧ください。

～岩代支所に新しい風～新職員を紹介します

「楽しい思い出のある岩代地域で、皆さんと一緒に地域づくりに取り組んで参ります」

岩代支所長 伊藤雅弘さん



「新米支所長ですが、どうぞ宜しくお願い致します」

四月一日に岩代支所長を拝命しました。生まれも育ちも旧二本松市内ですが、母の出身が旧岩代町であったため、中学生になるまでは毎年、正月とお盆には必ず母の実家を訪れていました。近所の小さな神社にお参りをしたり、近くの小学校の校庭で開催された夏祭りや河川での魚釣りなどに参加して楽しい時間を過ごしたのを今も覚えています。

★伊藤さんの魅力に迫る★**Q. 趣味・休日の過ごし方は？**

NHKの連続テレビ小説などのドラマやバラエティ番組など気になる番組を録画して鑑賞しています。また、野球シーズンに入ってからは大谷翔平選手の出場試合やニュースを観るのが日々の楽しみです。

Q. 子どもの頃の夢は？

プロ野球選手になること(当時は巨人とヤクルトが好きでした。現在は強いて言えば楽天です)

Q. これからやりたい事は？

海釣りがしたいです。

また、岩代地域には三十数年の職員生活の中でお世話になった方や現在進行形でお世話になっている方がたくさんいらっしゃいます。岩代支所での勤務は初めてですが、不安もありますが、そういうご縁もありますので救われています。今後は、地域の皆さんとお会いする機会が沢山ありますので、できるだけ早く皆さんの顔と名前を覚えられようと思います。すし、皆さんからいろいろ教えていただきながら、皆さんと一緒に地域づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

『第1回さくら回廊散策』

とりはる

「撮り春」が開催されました

四月十二日、

岩代観光協会では、合戦場のしだれ桜と周辺の「さくら回廊」を散策し、スマホ等で撮影をするイベント、「撮り春」を開催しました。



市内在住のフォトグラファーが講師を務め、スマホ等で気軽に春を写真で切り撮る手法をレクチャーしました。散策途中のお茶タイムでは、地元産アップルパイ(ドリンク割引券付)を贈呈。散策後は道の駅「さくらの郷」でおこわ、けんちゃん汁、天ぶら等の特製ヘルシーランチをいただきました。「楽しい」「また参加したい」等、皆さんに好評でした。

岩代の歴史シリーズ**台松塚館 その①**

台松塚館保存会

副会長 赤沼英一

杉沢のこの地で生まれたが、高校を卒業してすぐに就職。会社では転勤の連続で単身赴任。退職し自宅に戻ったが地元のこととはほとんどわからなかった。地元へ帰ってすぐ、否応なしに杉沢行政区の副区長そして区長に選出された。地域のことがわからず戸惑った。

慌てて勉強しようにも右も左もわからず資料もない。何もわからないのにどうやって区をまとめるのか。

歴史・習慣・人物、なんとなくの言い伝えのみ。調べて記録に残して後世に残す必要があると考えた。

それから杉沢区内を歩き、撮った写真だけでも一〇〇〇枚を超えた。

調べているうちに杉沢の由来が記されている書籍があることが判明。

(安齋虎雄氏著「由来記」区保存)

これも参考にしながら自ら歩き調べたものを「杉沢の遺産」と名前を付けてまとめ、区の役員や要望のある区民の方に配布した。

杉沢にある有形無形の文化遺産を保護し記録に残すことが、生まれ育った杉沢の歴史や伝統文化などを再認識し地域への思いの醸成につながるの、想いでまとめたものである。

その中で、杉沢に館(史跡)があったことが分かった。長老などに聞きあたり探した。探し当てた史跡は荒れ果てた山林であった。しかし、歴史上重要な役割を果たしたことがわかった。